

令和5年度行政事業レビューシート		( 文部科学省 )					
事業名	次世代X-nics半導体創生拠点形成事業		担当部局	研究開発局	作成責任者		
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	令和13年度	担当課室	環境エネルギー課 環境エネルギー課長 轟 渉		
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)			関係する 計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定) 2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略(令和3年6月策定) 半導体・デジタル産業戦略(令和3年6月) 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画(令和4年6月閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月閣議決定)			
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応		主要経費	科学技術振興費			
施策	9-2 環境・エネルギーに関する課題への対応						
政策体系・評価書URL							
事業の目的 (5行程度以内)	本事業は、「第6期科学技術・イノベーション基本計画」や「半導体・デジタル産業戦略」等に基づき、産学官連携により、半導体の研究開発や人材育成に取り組むアカデミアの中核的な拠点の形成を推進することで、半導体分野における国際競争力強化とカーボンニュートラル社会の実現に貢献することを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	半導体集積回路はカーボンニュートラル社会やデジタル社会を支える基盤であり、経済安全保障にも直結する重要技術でもある。過去30年間で10倍に急成長した半導体市場は、今後10年程度で100兆円規模に達すると期待されており、その多くを集積回路が占めている。半導体集積回路の重要性が増す中、これまでの延長線上ではない半導体集積回路を世界に先駆けて創生し、日本が逆転シナリオを描くためには、全国に散在している研究開発リソースを連携させ、オールジャパンのアカデミアの知見等を総動員し、研究開発及び人材育成を強化する必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	本事業は、2035～2040年頃の社会で求められる半導体集積回路の創生を目指したアカデミアの中核的な拠点を形成し、省エネ・高性能な半導体創生に向けた新たな切り口による研究開発と将来の半導体産業を牽引する人材の育成を推進する事業である。令和4年度から、「Agile-X～革新的半導体の民主化拠点」(代表機関:東京大学)、「スピントロニクス融合半導体創出拠点」(代表機関:東北大学)、「集積Green-nix研究・人材育成拠点」(代表機関:東京工業大学)の3拠点を支援している。 ※令和3年度補正予算を獲得しているが、審査により事業開始に関しては令和4年度からとなっている。						
事業概要URL	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20230119-mxt_kouhou02-000027104_21.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20230119-mxt_kouhou02-000027104_21.pdf</a> ※リンク先資料の26枚目参照。						
実施方法	委託・請負						
補助率等							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	3,000	1,121	334	
		令和5年度第1次補正予算				334	
		前年度から繰越し(C)	-	-	3,000	1,275	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	▲ 3,000	▲ 1,275	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	3,746	2,509	1,234
		執行額(G)			3,744		
		執行率(%) =(G)/(F)	-	-	100%		
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	185%		
		令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)
(項)	研究開発推進費				重要政策推進枠 334百万円		
(目)	科学技術試験研究委託費		898	1,232			
(目)	諸謝金		0.7	0.7			
(目)	職員旅費		0.5	0.5			
(目)	委員等旅費		0.5	0.5			
(目)	非常勤職員手当		0.3	0.3			
	その他		0	0			
	計(A)	900	1,234				

活動内容① (アクティビティ)	本事業の各拠点において、拠点構想に基づく、新しい設計・原理や材料、プロセスを活用した、「次世代 X-nics 半導体」の創生に向けた研究開発を推進する。									
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	アカデミアの中核となる拠点の形成	本事業によって形成される 拠点の数	活動実績	拠点	-	-	3	-	-	
当初見込み			拠点	-	-	3	3	3		
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	初期段階として、研究開発の実施による成果の論文化が見込まれるため、次世代半導体技術の論文化を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度		
	次世代半導体技術の論文化	累積論文数(本年度より指標 を設定予定)	成果実績	件	-	-	-	-		
			目標値	件	-	-	-	-		
達成度			%	-	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	<p>文部科学省調べ(成果報告書等)</p> <p>※ 外部有識者の所見に従い、成果指標として成果を適切に測れる指標について検討し、事業統括会議等の意見も踏まえた上で、目標値とあわせて年度内に決定する予定。</p> <p>※ R3年度補正予算による事業だが、審査により事業開始はR4年度となっているため、成果実績に関してはR4年度以降を集計予定。</p>									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	論文化される要素技術等の研究開発が進み、特に顕著な成果が創出された場合には、主要国際会議への投稿による成果の発信が見込まれるため、主要国際会議における研究成果の発信を中期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 8年度		
	主要国際会議における研究成果の発信	主要国際会議における累積 採択数	成果実績	件	-	-	-	-		
			目標値	件	-	-	-	-		
達成度			%	-	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	<p>文部科学省調べ(成果報告書等)</p> <p>※ 外部有識者の所見に従い、成果指標として成果を適切に測れる指標について検討し、事業統括会議等の意見も踏まえた上で、目標値とあわせて年度内に決定する予定。</p> <p>※ R3年度補正予算による事業だが、審査により事業開始はR4年度となっているため、成果実績に関してはR4年度以降を集計予定。</p>									
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	主要国際会議において発信する研究成果の中から、実用化に向けた企業との共同研究に発展することが見込まれるため、実用化に向けた企業との共同研究の実施を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 13年度		
	実用化に向けた企業との共同研究の 実施	本事業から発展した企業との 共同研究数	成果実績	件	-	-	-	-		
			目標値	件	-	-	-	-		
達成度			%	-	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	<p>文部科学省調べ(成果報告書等)</p> <p>※ 外部有識者の所見に従い、成果指標として成果を適切に測れる指標について検討し、事業統括会議等の意見も踏まえた上で、目標値とあわせて年度内に決定する予定。</p> <p>※ R3年度補正予算による事業だが、審査により事業開始はR4年度となっているため、成果実績に関してはR4年度以降を集計予定。</p>									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容② (アクティビティ)	本事業の各拠点において、拠点構想に基づく、新しい設計・原理や材料、プロセスを活用した、「次世代 X-nics 半導体」の創生に向けた研究開発を推進する。									
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	アカデミアの中核となる拠点の形成	本事業によって形成される 拠点の数	活動実績	拠点	-	-	3	-	-	
			当初見込み	拠点	-	-	3	3	3	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	初期段階として、研究開発の実施による成果の特許化が見込まれるため、次世代半導体技術の特許化を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度		
	次世代半導体技術の特許化	特許出願累積件数	成果実績	件	-	-	-	-		
			目標値	件	-	-	-	-		
達成度			%	-	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	<p>文部科学省調べ(成果報告書等)</p> <p>※ 外部有識者の所見に従い、成果指標として成果を適切に測れる指標について検討し、事業統括会議等の意見も踏まえた上で、目標値とあわせて年度内に決定する予定。</p> <p>※ R3年度補正予算による事業だが、審査により事業開始はR4年度となっているため、成果実績に関してはR4年度以降を集計予定。</p>									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	取得する特許のうち、特に成果の著しいものは、主要国際会議への投稿による成果の発信が見込まれるため、主要国際会議における研究成果の発信を中期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 8年度		
	主要国際会議における研究成果の発信	主要国際会議における累積 採択数	成果実績	件	-	-	-	-		
			目標値	件	-	-	-	-		
達成度			%	-	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	<p>文部科学省調べ(成果報告書等)</p> <p>※ 外部有識者の所見に従い、成果指標として成果を適切に測れる指標について検討し、事業統括会議等の意見も踏まえた上で、目標値とあわせて年度内に決定する予定。</p> <p>※ R3年度補正予算による事業だが、審査により事業開始はR4年度となっているため、成果実績に関してはR4年度以降を集計予定。</p>									
↓	成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	主要国際会議において発信する研究成果の中から、実用化に向けた企業との共同研究に発展することが見込まれるため、実用化に向けた企業との共同研究の実施を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 13年度		
	実用化に向けた企業との共同研究の 実施	本事業から発展した企業との 共同研究数	成果実績	件	-	-	-	-		
			目標値	件	-	-	-	-		
達成度			%	-	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	<p>文部科学省調べ(成果報告書等)</p> <p>※ 外部有識者の所見に従い、成果指標として成果を適切に測れる指標について検討し、事業統括会議等の意見も踏まえた上で、目標値とあわせて年度内に決定する予定。</p> <p>※ R3年度補正予算による事業だが、審査により事業開始はR4年度となっているため、成果実績に関してはR4年度以降を集計予定。</p>									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容③ (アクティビティ)	本事業の各拠点において、拠点構想に基づく、産業界への専門人材の持続的な供給に向けた若手人材の育成を推進する。									
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	アカデミアの中核となる拠点の形成	本事業によって形成される 拠点の数	活動実績	拠点	-	-	3	-	-	
			当初見込み	拠点	-	-	3	3	3	
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	初期段階として、大学生、大学院生向けの講義・セミナーの実施が見込まれるため、半導体関連の講義・セミナーの実施を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度		
	半導体関連の講義・セミナーの実施	年間に実施される半導体関連 の講義やセミナーへの受講者 数	成果実績	人	-	-	-	-		
			目標値	人	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	<p>文部科学省調べ(成果報告書等)</p> <p>※ 外部有識者の所見に従い、成果指標として成果を適切に測れる指標について検討し、事業統括会議等の意見も踏まえた上で、目標値とあわせて年度内に決定する予定。</p> <p>※ R3年度補正予算による事業だが、審査により事業開始はR4年度となっているため、成果実績に関してはR4年度以降を集計予定。</p>									
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	半導体関連の講義・セミナーの受講者が増えることにより、拠点への関心も高まり拠点に参画する修士・博士人材の増加が見込まれるため、拠点に参画した学生が学位取得後に研究開発職に就く人数の増加を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 13年度		
	拠点に参画した学生が学位取得後に 研究開発職に就く人数の増加	修士もしくは博士取得後に研 究開発職に就いた人材数	成果実績	人	-	-	-	-		
			目標値	人	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	<p>文部科学省調べ(成果報告書等)</p> <p>※ 外部有識者の所見に従い、成果指標として成果を適切に測れる指標について検討し、事業統括会議等の意見も踏まえた上で、目標値とあわせて年度内に決定する予定。</p> <p>※ R3年度補正予算による事業だが、審査により事業開始はR4年度となっているため、成果実績に関してはR4年度以降を集計予定。</p>									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由									

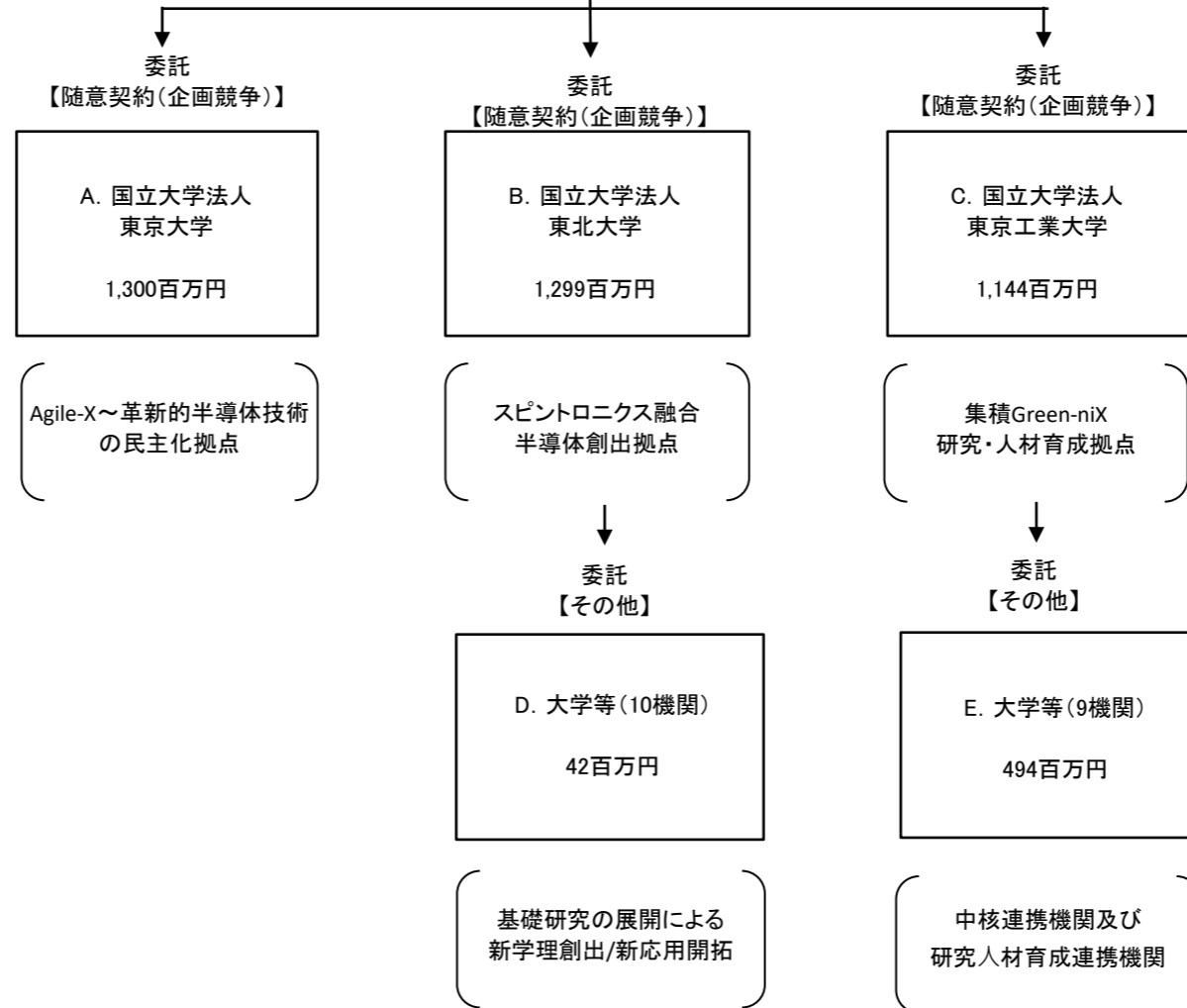
活動内容④ (アクティビティ)	本事業の各拠点において、拠点構想に基づく、産業界への専門人材の持続的な供給に向けた若手人材の育成を推進する。									
↓										
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	アカデミアの中核となる拠点の形成	本事業によって形成される 拠点の数	活動実績	拠点	-	-	3	-	-	
			当初見込み	拠点	-	-	3	3	3	
↓	成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	初期段階として、博士後期課程学生等に対するリサーチアシスタント(RA)としての雇用が見込まれるため、RAとしての博士後期課程学生等の雇用の増加を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度		
	RAとしての博士後期課程学生等の雇 用の増加	RAとして雇用した博士後期課 程学生等の累積数	成果実績	人	-	-	-	-		
			目標値	人	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	<p>文部科学省調べ(成果報告書等)</p> <p>※ 外部有識者の所見に従い、成果指標として成果を適切に測れる指標について検討し、事業統括会議等の意見も踏まえた上で、目標値とあわせて年度内に決定する予定。</p> <p>※ R3年度補正予算による事業だが、審査により事業開始はR4年度となっているため、成果実績に関してはR4年度以降を集計予定。</p>									
↓	成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	RAとしての博士後期課程学生等の雇用の増加により、拠点への関心も高まり、拠点に参画する修士・博士人材の増加が見込まれるため、拠点に参画した学生が学位取得後に研究開発職に就く人数の増加を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 13年度		
	拠点に参画した学生が学位取得後に 研究開発職に就く人数の増加	学位取得後に研究開発職に 就いた人材数	成果実績	人	-	-	-	-		
			目標値	人	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	<p>文部科学省調べ(成果報告書等)</p> <p>※ 外部有識者の所見に従い、成果指標として成果を適切に測れる指標について検討し、事業統括会議等の意見も踏まえた上で、目標値とあわせて年度内に決定する予定。</p> <p>※ R3年度補正予算による事業だが、審査により事業開始はR4年度となっているため、成果実績に関してはR4年度以降を集計予定。</p>									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容⑤ (アクティビティ)	本事業の各拠点において、拠点構想に基づく、拠点外の研究者等が幅広く利用できる体制をとり、我が国全体の研究基盤強化に貢献する。									
↓										
活動目標及び活動実績 ⑤ (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	アカデミアの中核となる拠点の形成	本事業によって形成される 拠点の数	活動実績	拠点	-	-	3	-	-	
			当初見込み	拠点	-	-	3	3	3	
↓	成果目標⑤-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	初期段階として、拠点形成の実施によって研究環境が充実し、拠点外の利用者の増加が見込まれるため、拠点内外の幅広い利用者の研究活動への裨益を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ⑤-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度		
	拠点内外の幅広い利用者の研究活動 への裨益	拠点外利用者の数	成果実績	人	-	-	-	-		
			目標値	人	-	-	-	-		
達成度			%	-	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	<p>文部科学省調べ(成果報告書等)</p> <p>※ 外部有識者の所見に従い、成果指標として成果を適切に測れる指標について検討し、事業統括会議等の意見も踏まえた上で、目標値とあわせて年度内に決定する予定。</p> <p>※ R3年度補正予算による事業だが、審査により事業開始はR4年度となっているため、成果実績に関してはR4年度以降を集計予定。</p>									
↓	成果目標⑤-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	拠点外利用者の中から著しい成果が創出された場合には、論文による成果発信が見込まれるため、拠点外利用者による主要国際会議における研究成果の発信を中期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ⑤-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8年度		
	拠点外利用者による次世代半導体技術の 創出	拠点外利用者の拠点活用による 累積論文数	成果実績	件	-	-	-	-		
			目標値	件	-	-	-	-		
達成度			%	-	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	<p>文部科学省調べ(成果報告書等)</p> <p>※ 外部有識者の所見に従い、成果指標として成果を適切に測れる指標について検討し、事業統括会議等の意見も踏まえた上で、目標値とあわせて年度内に決定する予定。</p> <p>※ R3年度補正予算による事業だが、審査により事業開始はR4年度となっているため、成果実績に関してはR4年度以降を集計予定。</p>									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ⑤について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ⑤についてアウトカムが複数設定できない理由									

事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名称	-																	
	URL	-																	
	該当箇所	-																	
事業所管部局による点検・改善																			
点検結果	半導体分野については、省エネルギーを実現する次世代の半導体創生と中長期的な国内における半導体の安定供給を目指し、産業界側とも連携しながら、アカデミアにおける研究開発、人材育成施策を展開していくことが求められている。本事業は、国内でこれまでまとまった投資が行われてこなかったが産業政策や国際競争の観点から極めて重要な半導体分野の国内の大学・国研等における研究・人材育成拠点を推進するフラグシップ事業である。事業で支援している拠点については、公募による慎重な審査を経て採択している。 繰越については、半導体不足による装置の納入遅延や、装置導入の際の外部有識者指摘を踏まえた仕様変更により、計画変更の必要が生じたためであり、理由は妥当である。 ※アクティビティの点検については、成果報告書等をもとに実績を確認した上で行う。														目標年度における効果測定に関する評価(令和9年度実施)				
	改善の方向性	上記の点検を踏まえつつ、同事業の目的を達成するため、予算を効果的かつ適切に執行していく。繰越については、見直した計画通りに令和5年度中に執行し研究開発を実施するよう進捗管理を行う。																	
外部有識者の所見																			
2050年のカーボンニュートラルやデジタル社会の実現、経済安全保障の確保に向けて重要な役割を果たす事業であり、研究開発ならびに人材育成として必要であることは理解できるが、成果指標として論文数・国際会議等の発信回数など、成果を適切に測れる指標を設定すべきである。																			
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見																			
事業内容の一部改善	この事業は、外部有識者の指摘を踏まえ、事業の成果を適切に測れる成果指標を目標値として設定すべきである。																		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																			
年度内に改善を検討	外部有識者の所見に従い、成果指標として論文数・国際会議等の発信回数など、成果を適切に測れる指標について検討し、事業統括会議等の意見も踏まえた上で年度内に決定する予定。																		
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ																		
	-																		
	上記への対応状況																		
	-																		
	その他の指摘事項																		
	-																		
	上記への対応状況																		
備考																			
-																			
関連する過去のレビューシートの事業番号																			
平成23年度																			
平成24年度																			
平成25年度																			
平成26年度																			
平成27年度																			
平成28年度																			
平成29年度																			
平成30年度																			
令和元年度																			
令和2年度	文部科学省																		
令和3年度	2021	文科	新22	0018															
令和4年度	2022	文科	21	0269															

文部科学省  
3,744百万円

諸謝金 0.6百万円  
職員旅費 0.1百万円  
委員等旅費 0.3百万円  
庁費 0.1百万円 を含む



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者 について記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	物品費	設備備品費、消耗品費	814	物品費	設備備品費、消耗品費	836
	間接経費		300	間接経費		290
	その他	外注費等	132	人件費・謝金	人件費、謝金	67
	人件費・謝金	人件費、謝金	53	その他	外注費等	59
				委託費	参画機関への研究の委託費	42
				旅費	旅費	4
	計		1,299	計		1,298
	C.			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
委託費	参画機関への研究の委託費	494	物品費	設備備品費、消耗品費	7	
物品費	設備備品費、消耗品費	433	間接経費		2	
間接経費		150				
人件費・謝金	人件費、謝金	54				
その他	外注費等	8				
旅費	旅費	5				
計		1,144	計		9	
E.			F.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
物品費	設備備品費、消耗品費	192				
間接経費		58				
計		250	計			
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東京大学	5010005007398	革新的設計・試作効率化技術の開発、及び、IoT、AI等の各分野に関する革新的技術とAgile技術との掛け合わせによる各分野の新展開に資する研究開発及び人材育成を推進。	1,300	随意契約(企画競争)	9	-	-

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東北大学	7370005002147	スピントロニクスを中核に据え、新材料・素子の研究開発とその特性を引き出す回路・アーキテクチャ・集積化技術の研究開発及び人材育成を推進。	1,299	随意契約(企画競争)	9	-	-

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東京工業大学	9013205001282	低環境負荷等のグリーンな半導体実現に向けて、システム・回路・デバイス・プロセス・材料の集積研究及び人材育成を推進。	1,144	随意契約(企画競争)	9	-	-

D.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東京大学	5010005007398	基礎研究の展開による新学理創出/新応用開拓	9	その他	-	-	-
2	国立大学法人大阪大学	4120905002554	基礎研究の展開による新学理創出/新応用開拓	7	その他	-	-	-
3	国立研究開発法人物質・材料研究機構	2050005005211	基礎研究の展開による新学理創出/新応用開拓	7	その他	-	-	-
4	国立大学法人北海道大学	6430005004014	基礎研究の展開による新学理創出/新応用開拓	4	その他	-	-	-
5	国立大学法人京都大学	3130005005532	基礎研究の展開による新学理創出/新応用開拓	4	その他	-	-	-
6	国立大学法人九州大学	3290005003743	基礎研究の展開による新学理創出/新応用開拓	3	その他	-	-	-
7	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構	9012405001241	基礎研究の展開による新学理創出/新応用開拓	3	その他	-	-	-
8	国立大学法人東京工業大学	9013205001282	基礎研究の展開による新学理創出/新応用開拓	3	その他	-	-	-
9	学校法人慶應義塾	4010405001654	基礎研究の展開による新学理創出/新応用開拓	2	その他	-	-	-
10	国立大学法人電気通信大学	5012405001286	基礎研究の展開による新学理創出/新応用開拓	2	その他	-	-	-

E.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人豊橋技術科学大学	1180305003290	中核連携機関	250	その他	-	-	-
2	国立大学法人広島大学	1240005004054	中核連携機関	95	その他	-	-	-
3	国立大学法人豊橋技術科学大学	1180305003290	中核連携機関	63	その他	-	-	-
4	国立大学法人広島大学	1240005004054	中核連携機関	53	その他	-	-	-
5	国立研究開発法人産業技術総合研究所	7010005005425	研究人材育成連携機関	9	その他	-	-	-
6	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構	8040005001619	研究人材育成連携機関	9	その他	-	-	-
7	国立大学法人長岡技術科学大学	7110005012080	研究人材育成連携機関	8	その他	-	-	-
8	学校法人明治大学	9010005002362	研究人材育成連携機関	8	その他	-	-	-
9	独立行政法人国立高等専門学校機構	8010105000820	研究人材育成連携機関	1	その他	-	-	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	